問

◎解体中の寸又峡自然休養村跡地の（エコパークの拠点整備）を含め今後の取り組みを
◎人と環境にやさしい寸又峡作りを
◎マイスター制度と各分野のリーダーについて

野口　直次　議員

質問　寸又峡の自然休養村施設を解体中であるが、エコパークの拠点を含め今後の取り組みについて。①現地観光案内は。②南アルプス山岳図書館の有効活用は。③町全体を含め新規に拠点づくりの計画は。

町長　①寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合が指定管理者となり繁忙期に町の観光、温泉の案内を行っていたが、老朽化により現在解体中。今までも町は案内所を設置していない。今後は組合施設である山岳図書館の利用、手狭であれば適正な規模を考慮し施設整備を含め今後のあり方を考える。支援の要望が生じた場合は協議に応じたい。組合の今後の方針を待ちたいと考える。②組合所有施設であり管理運営をしている。平成20年に広く図書の寄付を呼びかけて山岳図書、写真など価値の高いものを公開・展示。町、国の助成金を活用し建設した。エコパークの情報発信の施設として今後とも活用させてもらいたい。③エコパークの発信基地は新規の建設計画を持っておらず、現在ある町の施設を有効に活用したい。

山岳図書館

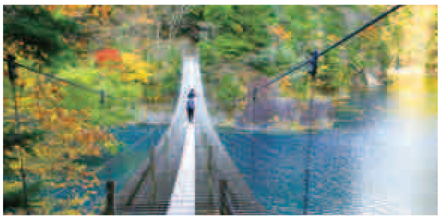
質問　人と環境にやさしい観光地寸又峡づくりについて、①身障者の方の駐車スペースの設置を。②赤ちゃんのおむつを替える場所等の設置を。③トイレの改良増設の検討を。④若者の観光客が増加しているが、具体的な観光対策は。

町長　①終点バス停前は町有地であるため実現は可能である。今後協議する。②アメニティ施設の設置は、温泉内で場所を提案いただければ、どこで管理するかも含め検討する。人にやさしい観光地づくりを進めていくうえでは今後必要と考えている。③トイレの改良は洗浄・ヒーター機能付などに順次替えていくことで対応している。④若者のSNS等による発信が新たな若者を呼び、「一度吊り橋に行ってみよう。すぐに行こう」感覚ができている。夢の吊り橋をみんなで再認識するとともに、アクセス道路の整備等も陳情が必要である。観光業の方々はお客様を大切にしながら個々の営業戦略に期待する。

寸又峡駐車場

質問　人づくりは町づくりについて伺う。①マイスター制度の進捗状況について伺う。②各分野でリーダーの育成がされつつあると思うが町の考えを伺う。

町長　①26年度制定後登録申請がないのが現状。一部の変更を考えながら良さを知っていただきPRに努める。②マイスター制度的なものでリーダーを育成し、認められるということが大切と思っている。



寸又峡夢の吊橋

答

◎新規拠点は作らない。現在ある各施設の有効利用を地元組合と協議する
◎身障者の駐車スペースの設置を協議する
◎マイスター登録者現在無し。リーダー育成のPRに努める

鈴木多津枝 議員

問

◎塩郷ダム水利権更新に向けた協議開始を
◎待ったなしの寸又峡地区振興と林業振興を問う
◎若者・子育て支援拡充で人口を増やすまちづくりを

質問 ①昨年末の田代ダム10年目の初更新状況は。②2年後に迫る塩郷ダム水利権更新に向けた流域市町・県・中電との協議は。③塩郷ダム撤去、通年全開、橋建設の要望は。

町長 ①昨年9月、第14回大井川水利流量調整協議会で、現在の維持流量の維持、水量が少ない冬場の東電の取水量の検証、更新期間10年を確認した。各ダムの維持流量に田代ダムからの還元量の上乗せ放流の効果が、魚族、環境調査で確認できたとして調査を完了した。②杉山元町長が会長の時、流域市町で構成する「清流を守る研究協議会」で協議会設立を求めたが実現していない。③少ない水量や堆積土砂など流域住民の不満は大きい。塩郷えん堤は大型車輌が通行できず有事の際の住民不安は大きい。2車線の橋梁新設を県に要望している。

水利権更新迫る塩郷ダム

質問 廃業が続く寸又峡振興と林業振興を。①ホタル鑑賞で新たな魅力づくりと、活動団体への支援を。②木の駅事業によるバイオマス発電と給湯を。③将来有望な直交集成材（CLT）の研究・取り組みを。

町長 ①地元より話があれば相談に乗る。活動団体への支援可能。②温泉の燃料代大きい。木の駅事業開始に伴い木材の有効利用の調査を行う。③需要と供給見て検討したい。

質問 若者・子育て支援の拡充で人口を増やすまちづくりを。

町長 若者層の定着に向け就労や子育て支援に積極的に取り組む。①民間の家賃補助検討にとどまっている。子育て世帯の住宅建設補助を今年度から始めた（子ども1人当たり50万円、150万円限度）。②空き家改修補助も50万円から100万円に引き上げた。③保育料無料化や学校給食費の無料化は保護者の負担軽減につながるのは明白。来年度予算編成に向けて検討する。④奨学金については、給付制や無利子、返済期間延長など今後の課題として検討したい。県は低所得世帯の高校生に対し返済無しの奨学金制度がある。詳細は県のホームページで確認を。⑤子育て体験講座は、中・高生向け講座や、出産・育児経験者による体験発表・懇談会、中・高生対象に育児ボランティア体験等を開催。昨年度は町内の事業所独身男女に妊娠・出産に関する講座を開催した。マタニティースクールやふれあいママ教室等の講座も開催している。妊娠届を出すお母さんの直接面談や妊婦健康診査、母親学級等の保健指導、出産直後の乳幼児健康診査、新生児訪問・保健指導、乳児全戸訪問、児童虐待の発生予防など、今後も様々な機会を通して若い世代への啓発に取り組みたい。

超かわいい〜子育て体験講座

答

◎「大井川の清流を守る研究協議会」で必要に応じ対応
◎地区のみなさんと相談、木材利活用調査結果で検討
◎教育・子育てという未来を創造する投資に積極的に取り組みたい